



岡山県高等学校
P T A 連合会
事務局
〒700-0824
岡山市北区内山下
1-14-19
TEL (086)
234-1640
FAX (086)
234-1835

「改めて命について考える」



岡山県高等学校 P T A 連合会会長
岡山地区連合会会長
中村 有作

まず、東日本大震災の被害に遭われた方々に心よりお悔やみ申し上げます。

未曾有の津波による大災害に加え、その後の原発問題等、現在もなお厳しい生活を余儀なくされている多数の皆様が一日も早く元の生活に戻れますことを願わずにはいられません。

今回の大震災を経験して、私たちは生かされていることに感謝しなければいけないという思いを強くしました。

8月25日、26日と全国高等学校 P T A 連合会大会北海道大会のテーマは「いのち輝け」でした。

精神科医・立教大学教授 香山リカさんの基調講演

（生きる力をつける処方箋）、前旭山動物園園長小菅正夫さんの記念講演（命をつなぐ）は非常に有意義なものでした。

特に、動物たちがそれぞれ有の方法で命をつないできたという話には改めて感心させられました。

強い者が生き残るのではなく、環境に適応できるものが生存していくのだなど感じました。

さて、振り返ってみるに私たちは次世代、また、その次の世代へと命をつないでいるのか真剣に考える時期にさしかかっているのではないのでしょうか。



小菅正夫氏



香山リカ氏

（生きたる力をつける処方箋）、前旭山動物園園長小菅正夫さんの記念講演（命をつなぐ）は非常に有意義なものでした。自然環境についても少しり、エネルギー問題についても少しりです。

この点については地球全体の問題としてとらえ、各人、各国のエゴを捨て、次世代の子供たちが生き生きと暮らしていける環境整備をしていく必要があるのではないのでしょうか。

改めて「命」について考えさせられた大会でした。

「夢、目標は子供だけのもの」



倉敷地区連合会会長
前島 正美

倉工の役員もトータル六年目に成りました。保護者の方々には日頃より大変お世話に成っております。今に始まった事では無いと思います。子供にはこう成って欲しいこんな仕事をして欲しいのでは親の私達は？

まず、自分が誰の為何の為に生かされ仕事をしているのかを、一度考えみてはどうでしょうか。

我々親が夢・目標を常に意識して生活する事で、家庭の雰囲気もかなり変わるのではないのでしょうか。子供達に勉

「高校野球から感じたもの」



美作地区連合会会長
牧野 秀俊

本年三月十一日に発生した東日本大震災は、死者・行方不明者二万人超という未曾有の大震災となつてしまいました。被災された方々には心からお見舞い申し上げます。

この大震災の発生から半月足らずして、選抜高等学校野球大会が開幕しました。選手宣誓の栄誉を与えられたのは岡山県代表創志学園高校の野山主将でした。

な困難を乗り越えることができると信じています。私たちに、今できること。それはこの大会を精いっぱい元氣を出して戦うことです。『がんばろう日本。』生かされている命に感謝し、全身全霊を込めて、正々堂々とプレーすることを誓います。

十七歳の言葉に深い感銘を受けると共に勇氣を貰い、同じ岡山県人として彼を誇りに思いました。あの選手宣誓は「思いやりの心」が生んだ名言だと思えます。

世間では、「近頃の若者は」と何かにつけ批判的でありますが、それは一部の若者であって大部分が野山君と同

強しろと言う前にもう一度考えてはどうでしょうか。東北地方の方々を考えると本当に恵まれた環境だと思えます。この恵まれた環境で何もしない方が失礼だと思えます。

子供達と共にこの二十一世紀を生きて行く為にもう一度、夢・目標をしっかりと決めましょう。悔いの無い人生を子供と共に過ごしましょう。

政治を始め、経済においても混沌としている日本にとつて今一番大事なのは、自分たちの国「日本」をもう一度輝かせるために、お互いが「思いやりの心」を持って労わりあいながら生きていくことだと思えます。

この原稿を書いている今、甲子園では全国高校野球選手権大会が開催されています。今回の選手宣誓も「支え合い、助け合い」という言葉がありました。

将来の日本を支えていく若者に改めて「思いやりの心」の大切さを教えてもらったような気がします

「いのちの大切さを」

備南地区連合会会長

飯田 洋介

昨年度より玉野高等学校の P T A 会長を務めさせて頂き一年が過ぎ、本年度は、備南地区連合会会長と県高 P 連の副会長という大役をお引き受けする事となりました。役職柄各種の会合等に出席する機会が多くなり、他校の役員さんとの交流をさせて頂くことに深く感謝いたしております。

さて、本年三月十一日に起きた東日本大震災において、二万を超える犠牲者、行方不明者が出た事には大変心

今若者は両耳にイヤホンをつけ、危険が迫っていても感じなく、結果事故に巻き込まれる例も多く、また自転車においては接触事故により加害者となってしまう、という事も起こっています。事故は被害者になっても加害者になっても大変つらいものです。我々も今一度考えて P T A 活動を通じ学校と保護者が協力し、子ども達を危険から守るために動くべきではないか。

口うるさい親でも、厳しい先生であつてもいいのではないか、全ては将来ある子ども達の「いのち」を守るためなればこそ。

「第二の高校生活を」

備西地区連合会会長

北村 卓治

初めに、東日本大震災で、被災された、多くの方々によりお見舞い申しあげます。そして一日も早い復興を、お祈りいたします。

さて、P T A 活動をしていて、一番大事で、難しいのは、新しい役員の方を決める時ではないでしょうか。保護者の方の中には、積極的に参加して下さる方もいれば、「なんで私なの」「めんどくさい」「時間が無い」など色々な、声を聞きます。ど

うしたら、一人でも多くの保護者の方に参加してもらえませんが、問題でした。そこで、現在私たちが使う言葉は、保護者の方も「第二の高校生活」を子どもと一緒に楽しみましようと言うことです。

P T A 活動では無く、保護者科の生徒として、学校の行事に参加してもらえれば、負担も少なく、楽に協力してもらえらる、思ったからです。今では多くの保護者の方

「私にとつての P T A 活動の意味」

備北地区連合会会長

八木橋 康広

私は仕事の関係で十三年前に県外より一家で高梁市に転入してきました。当初は誰一人知り合いもなく文字通り五里霧中の状態でした。そんな中で家内が二人の息子が入園した市立幼稚園の P T A の役員をさせて頂いたことが、高梁での人脈の土台になったように感じました。

以後は私が小学校の P T A 副会長を三年間、そして高梁高校の P T A 役員が三年目となりこの度会長の大役を仰せ

つかりました。P T A 活動のお世話役である役員となるとそれなりの時間を取られらるり、また何よりも責任があります。

しかし P T A 活動に参加してみて得た私の率直な感想は「重荷や失うものよりも得るものの方がはるかに大きい」ということです。例えば私も私が P T A 活動に参加していなかったならば、見ず知らずのこの町に溶け込むことは

し、子供の通う学校とは私にとつてほとんど関係のない存在だったと思います。それが実際には P T A 活動に参加すること、学校や地域に関すること、知見を広め、先生や父母や地域の方々や親しくなる多くの機会を得て、何よりも子供の通った学校や私たちが家族の住むこの高梁、備北、岡山県という地域により深い愛着を持つことが出来まし

た。目には見えませんが、それらの思いが今では私の人生の財産となっていることを実感し、そのことに感謝する次第であります。

「和太鼓に魅せられて」

旭東地区連合会会長

池内 充浩

日本に生まれて良かったと日々感じていた中、「三・一一」の大震災が日本中に激震を走らせました。「頑張ろう。日本！」を合言葉に、早期の復興を願うばかりです。そのため元氣を出していこうと、最近では自粛だけでなく、復興支援のイベントや伝統文化のお祭りが行われていま

す。私は七年前から小学生の和太鼓クラブの指導者を務めさせて頂いています。高 P 連の

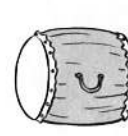
全国大会に行っても必ずアトラクションで、高校生の和太鼓演奏があり、いつも感動しています。和太鼓の音色は、お母さんのお腹の中で胎児が聴く心臓の音に似ていると言われ、何とも言えない響きと、心の奥底からくる感動が魅力的です。また、演奏している時は、お互いのリズムの早さや、音の強弱を肌で感じとって気持ちに合わせて叩くことが多く、自然と「あ、うんの呼吸」が身につく、人と人と

の絆も出来ていくと思えます。私自身、ある時は子供達と地域の伝統文化のお祭り、またある時には施設や老人ホームで和太鼓を叩きながら、多くの人達と出会い、感動や絆を深めることが出来ることを、本当に感謝しています。

社会が大きく揺れている中、あらためて音楽やスポーツなどを通じてより良い社会にしていきたいと思います。

が、積極的に P T A 活動に参加して下さるようになりました。これからも保護者の方に楽しく学校生活を送っていただくように、先生や保護者の皆様と一緒に P T A 活動に取り組んで行きたいと思

います。今後とも皆様のご協力を、お願い申しあげます。



平成二十三年度岡山県高等学校 P T A 連合会及び安全互助会総会報告

平成二十三年六月十六日(木)、ピュアリティまきびにおいて開催しました。

岡山県高等学校 P T A 連合会功労者表彰を行い、次に平成二十二年事業報告・会計決算報告・監査報告、安全互助会についての説明、平成二十三年度の新役員を紹介し、事業計画(案)・会計予算(案)を協議しました。

また、総会閉会后、研修会(講演)を実施しました。



【総会の様子】

講演

『若者自立支援を考える』

「予防・発見の大切さ」

特定非営利活動法人リス

タート事務局長

村本 和孝 氏

若者の中で増え続けている不登校・引きこもり・ニート。

この若者たちを訪問支援

し、自立・就労へと導く「特定非営利活動法人リス・タート」で活動を行う村本氏に、不登校・引きこもりを予防し、発見することの大切さを、実践例を交えて講演していただきました。

特定非営利活動法人リス・タートは、不登校・引きこもり・ニート状態にある若者を訪問支援しながら、自立支援・就労支援活動をしています。今までに四千人以上の不登校、引きこもり、ニートの支援実績があります。

自立を促すために、農園業務・ボランティア活動・職業体験をするなどの機会を与え、多くの「経験、体験」をする事で、社会へ復帰できる支援を行っています。

支援していくことはもちろん大切なことですが、それ以上に予防・発見していくことが重要なことであると教えていただきました。その予防・発見には家庭の役割が深く関わっています。

家族だからできる「予防」

それは、小さい頃から将来の生活を「どのように暮らしたか」ということをしっかりと話し合い、社会へ向けての選択肢を広く投げかけていくということ。「発見」それは、親としての直感を大切に、毎日の表情や言葉使い

などに気をつけ、ささいな変化を見逃さないと言うことです。そして、早期発見・対応によって防ぐためには、家庭と学校との協力は必要不可欠なものであると言うことを再認識いたしました。

また、現実の若者の世界を理解し、コミュニケーションをとることも大切なことで、最後に子ども達との会話を持つ方法を教えていただきました。

平成二十三年度岡山県 P T A 功労者表彰受賞者

表彰状受賞者(九名)

敬称略

- 丹治 邦夫 岡山 一宮 実
大森 美奈子 就 実
萩原 潤彦 和 気 開 谷
杉原 秀雄 瀬 戸 南
川崎 和子 興 敷 南
西 佳子 高 敷 南
森谷 良一 岡山県高梁日新
番原 芳弘 岡山県美作

感謝状受賞者(八十三名)

- 荒木 雷太 岡山 山朝 旦
吉田 悦子 岡山 山安 寺
山本 守岡 山 芳 泉
押目 和男 岡山 山 芳 泉
松井 美智子 岡山 山 芳 泉
阿部 徹哉 東岡山 工業
國定 保宏 東岡山 工業
松本 浩司 岡山 山 南
永井 康志 岡山 山城 東

- 乙倉 靖子 岡山 山城 東
勝田 幸子 岡山 山城 東
佐藤 早百合 岡山商科大学附属
河村 武人 岡山理科大学附属
藤原 志津子 岡山理科大学附属
十川 知子 岡山理科大学附属
大石 美穂 岡山 陽 女
植田 真弓 岡山 陽 女
橋爪 裕史 岡山 誠 学 院
桂波 晴美 岡山 誠 学 院
難波 栄明 岡山 誠 学 院
岡田 美佐子 岡山 誠 学 院
赤迫 康代 岡山 御 津
大月 武岡 山 芸 館
下田 和美 岡山 山 芸 館
米田 光雄 岡山 山 芸 館
牧野 康平 吉備高原学 園
市森 恵美 岡山 鷲 羽
黒住 紀子 岡山 鷲 羽
横山 小白 岡山 鷲 羽
有元 純一 岡山 野 光
杉川 平八 岡山 野 光
石川 勝彦 岡山 野 光
野瀬 純子 岡山 青 陵
小松 賢治 岡山 天 城
窪田 尚子 岡山 天 城
団迫 真由美 岡山 南
西尾 広恵 岡山 南
藤原 美子 岡山 南
三島 真津江 岡山 南
齋藤 緑 岡山 南
磯山 一成 岡山 南
小見山 和弘 岡山 南
大塚 圭子 岡山 南
高竹 和明 岡山 南
藤原 千代里 岡山 南
香月 圭一 岡山 南
別所 美治 岡山 南
吉岡 健二 岡山 南
藤井 護 岡山 南



- 姫井 富貴子 岡山
高橋 宏文 岡山
河川 欣志 岡山
花岡 浩井 岡山
中西 啓二 岡山
盛兼 幸子 岡山
江木 有三 岡山
吉岡 隆光 岡山
岩田 起代子 岡山
平田 瞳 岡山
藤井 良子 岡山
九川 和子 岡山
加本 典子 岡山
上田 智子 岡山
吉井 龍吾 岡山
名越 聡恵 岡山
糸谷 恵子 岡山
妻木 和正 岡山
小原 卓也 岡山
福田 律夫 岡山
荒内 浩二 岡山
林谷 宏和 岡山
向谷 直則 岡山
實原 有子 岡山
先原 栄治 岡山
松尾 和正 岡山
谷口 信之 岡山
森上 邦彦 岡山
竹内 邦彦 岡山

平成二十三年度役員・理事

- 会長 中村 有作 岡山 操山 P
副会長 (網島) 勝私学保護者会 P
廣本 勝裕 岡山 操山 P
飯田 洋介 岡山 野 P
前高 正美 岡山 工業 P
北村 卓治 岡山 山陽 P
牧野 秀俊 岡山 山 P
監事 池内 充浩 西大寺 P
八木橋 康広 高梁 P
早瀬 三規 男津 山東 P
理事 國本 卓明 岡山 大安寺 P
加藤 馨子 岡山 工業 P
武田 忠男 岡山 理大附属 P
西澤 幸司 岡山 芳泉 P
難波 保夫 岡山 実 P
稲荷 泰瑛 岡山 白陵 P
平松 雅之 岡山 野光 P
川善 真玉 岡山 野光 P
光田 嘉文 岡山 野光 P
中山 弘輝 岡山 青陵 P
中山 泰秀 岡山 中央 P
中川 上雄 岡山 工業 P
竹之内 金太 岡山 工業 P
高細 光二 岡山 商業 P
中桐 哲則 岡山 掛 P
中桐 哲則 岡山 掛 P
楠木 長武 岡山 掛 P
高橋 成宜 岡山 城南 P
平井 義昭 岡山 新 P
竹賀 芳雄 岡山 新 P
安藤 功林 岡山 野 P
有元 雅彦 岡山 野 P
山本 雅彦 岡山 野 P
赤堀 元美 岡山 野 P
武藤 博紀 私学協 会

第53回中国・四国地区高等学校PTA連合会大会(広島大会)報告

平成二十三年七月一五日(金)広島市文化交流会館において開催され、岡山県から百八六名が参加しました。

午前中は、研究協議が行われ、香川県立善通寺第一高等学校PTAから、子どもの進路意識高揚のために行われているPTA活動について、鳥取県立倉吉総合産業高等学校PTAから良き生活習慣を築く「学校ブランド」のための活動について、広島県立西城農業高等学校PTAからは、食・いのち・未来を考え、親子の絆を大切にと学校行事に積極的に参加し、協力し「食農教育」についての発表がありました。



【広島大会
高校生の発表の様子】

昼食後は、広島県の高校生による発表でした。艶やかな衣装や面を身につけた神楽の美しく迫力ある舞や、空手道の熱き思いが伝わる機敏な動き、集中力、詩吟に合わせたの演武。力強く、心に響く和太鼓などの発表はどれもすばらしく、高校生の一生涯懸命に表現する姿、情熱に深く感動しました。

第61回全国高等学校PTA連合会大会(北海道大会)報告



平成二十三年八月二十五日(木)～二十六日(金)北海きたえーるを主会場に開催し、全国から約一万人(岡山県から百十名)が参加しました。

「いのち 輝け!」をテーマとした大会では、精神科医・立教大学教授の香山リカ氏による「生きる力をつける処方箋」と題した基調講演、七つの分科会での活発な研究協議、前旭山動物園園長、小菅正夫氏による「命をつなぐ!」と題した記念講演が行われました。また高校生によるアトラクションでは、吹奏楽や躍動感溢れ、迫力ある踊りのソーラン節、ユーモアの



【ソーラン節】



【書道パフォーマンス】

ある衣装でのリズムカルなダンス、力強い和太鼓、高校生姉妹による江差追分、書道パフォーマンスの発表があり会場は大いに盛り上がりました。

●表彰式

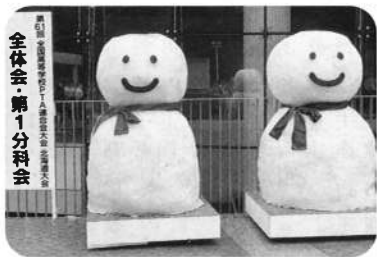
開会式にて、全国会長表彰(個人・団体、役員等)が行われました。岡山県からの受賞者は次のとおりです。

【全国会長表彰】

- *個人 萩原 潤彦 氏 (県立和気閉谷高等学校 前PTA会長)
- 西 佳子 氏 (県立高梁高等学校 前PTA会長)

*団体

- 岡山商科大学附属高等学校奨学会
- 岡山理科大学附属高等学校PTA
- 全国単位PTA広報紙展示
- *県立倉敷工業高等学校 「かけはし」
- *岡山理科大学附属高等学校 「RIDAI FUZOKU PTA PRESS」



全体会・第1分科会

なお、来年度の第六十二回大会は、平成二十四年八月二十二日(水)～二十四日(金)に和歌山県(和歌山ビッグホエール)にて開催されます。

「東日本大震災」義援金募金活動のお礼と報告

このたびの東日本大震災により被災された皆様に対し、義援金を募集していただきましたが、多くの学校関係者の皆様から総額、二百九十七万四千七百三十六円に及ぶ義援金をお寄せいただき、六月二十一日に全国高等学校PTA連合会へお届けさせていただきました。

全国高等学校PTA連合会にこうして届いた義援金の総額は、九千六百四十九万四千五百四十四円(六月二十四日時点)で、先般六月二十五日開催された全高P連総会の場において、被災地である宮城県、岩手県、福島県、茨城県、青森県の各高P連会長に直接手渡しされました。

ここに皆様方のご支援、ご協力に対しまして、心からお礼を申し上げます。

会長 中村 有作

